

# 安定生産！「土づくり肥料」

## <新潟県の水田土壌の実態>

- 土壌中の可給態ケイ酸の不足
- 遊離酸化鉄不足ほ場の増加
- 腐植等有機物の不足



## <対策(土壌診断結果にもとづく土づくり)>

- ◎ **有機物の施用** (堆肥、稲わら・もみ殻すき込み、緑肥など)
- ◎ **深耕** (作土層の拡大)
- ◎ **土づくり資材の施用** (ケイ酸質資材、鉄含有資材など)

## 「鉄」が大幅に不足している地域があります。



- 銀メッキ板※を用いた **硫化水素の「見える化」**  
※秋落ち(収量・品質低下)の原因となる硫化水素の発生が多いほど“黒変”する。
- 硫化水素の発生が多い圃場では、土壌中の「鉄」や「マンガン」が少ないので、土づくり肥料等で成分補給が必要。

※近年、水稻の品質・収量に影響を与える要因(気象環境の変化や土壌条件など)が多様化・複雑化しています。  
品質・収量を適正に維持するためには、土壌診断により土壌の状態を把握し、土づくりによる土壌環境の改善が重要となっています。

## おすすめ水稲用土づくり肥料

アイアン米スター

ニュー米スター



【鉄・ケイ酸】タイプ



【ケイ酸・軽量】タイプ

### 導入の効果

新潟米の**品質向上**と**安定生産**が期待できます。